



コミュニティ・スクール基本理念 ー地域の中で、みんなで生き生きと学ぶ川崎っ子の育成ー

川崎小学校 めざす学校像 ふれあいを通して人と人がつながり、学びにあふれる学校

NO.4 令和6年5月1日 校長 谷 伸

算数科で少人数指導を行います

本年度本校では、三重県教育委員会の「わかる授業推進事業」という事業を受けて、3・4・5・6年生で算数科の少人数指導を行います。少人数指導とは、「習熟度別・少人数指導」や「チーム・ティーチング指導」のことをさします。

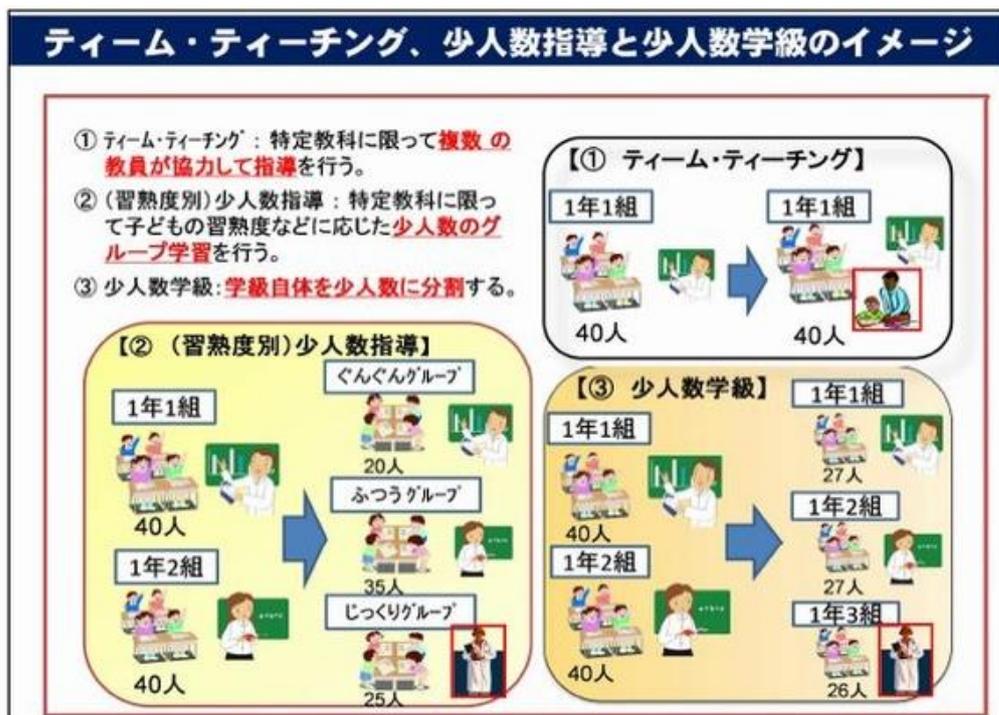
「習熟度別・少人数指導」とは、授業において1つの学級を習熟度別に2つのグループに分けたり、2つの学級を3つのグループに分けたりして、少人数で授業を行う授業形態や方法です。1つのグループを少人数にして指導を行うことで、児童一人一人に対して、きめ細かな指導を行うことが可能となり、より児童のニーズに応えやすくなります。

「チーム・ティーチング指導」とは、複数の教員が役割を分担し、協力して、同じ学級やグループで授業をすることです。例えば、1つの学級の授業を2人の先生が行います。1人の先生が授業を行い、もう一人の先生が児童の状況に応じてサポートできるので、1人で授業をするよりも、指導効率、学習効率が高くなります。また、児童の習熟状況をつぶさに観察、把握することができるので、児童が質問しやすくなったり、発表の場や意見を言う場が増えたりします。

また、この事業を受けることで、我々教職員も県の学力向上アドバイザーの指導・助言を受けることができるので、教員としてのスキルアップにつながります。

習熟度別・少人数指導を行うか、チーム・ティーチング指導を行うか等の授業の進め方については、算数科の単元内容や児童の習熟状況、授業進度によってその都度調整します。

くわしくは、各学年より必要に応じてお知らせします。よろしくお願ひします。



川小サポートルームを開設しました【再掲載】

不登校は日本教育の喫緊の課題です。不登校は誰にでも起こりうることであり、という認識のもと、亀山市では亀山市教育支援センター「ふれあい教室」、「フリースペースかめっこ」、初期適応教室「サークルルーム」を開設しています。ご案内したこの3つの施設は学校外の施設です。

過日お知らせの通り、本年度4月、川崎小学校における子どもの居場所づくりとして、校内ふれあい教室「川小サポートルーム」を設置しました。不登校児童及び不登校傾向にある児童に対し、落ち着いた空間の中で自分に合ったペースで学習・生活できる環境を整え、一人ひとりのニーズに応じた支援ができる場所です。主に、学習生活相談員の大井が担当します。詳しくは担任または担当（水野、白山）へおたずねください。

校内ふれあい教室「川小サポートルーム」

名称 川小サポートルーム

場所 川崎小学校内 南棟2F まなびの教室奥

開設時間 週2日（水・木）9時00分～14時00分まで

※詳しくは担任または担当（水野、白山）へおたずねください。



社会総がかりで

いじめを見逃さない取組へご協力ください

いじめは、重大な人権侵害であり、いじめを受けた子どもの教育を受ける権利を奪い、大切な命までも危険にさらす決して許すことのできないものです。また、いじめは誰にでもどこでも起こりうるものであり、学校だけの問題ではなく、社会全体の問題です。

学校におきましては、仲間づくりやあらゆる教育活動の場面で、いじめは犯罪につながる可能性のあるものであること、いじめは悪であるということ、子どもたちに教えてまいります。ご家庭におかれましても、お子様の発達段階に応じて、お話をしたり、教えたりしていただきたいです。

具体的には、①人をいじめてはならない ②いじめた子を見かけたら必ず止める ③それができなければ、親や先生に訴える という大原則3か条を家庭でもご指導いただければ幸いです。

子どもは人の中で育ち、成長していきます。時には意思疎通の不十分さや行き違いから、結果としていじめになってしまうことがあります。いじめの撲滅には家庭教育、保護者連携は必要不可欠です。子どもに関わる全ての大人が意識を高め、社会総がかりでいじめの問題に取り組み、いじめから子どもを守るためにも家庭教育におけるいじめをなくす活動へのご理解とご協力をお願いします。

